

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	農林部 森林課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 198人 (前年度 26人) バンガロー 809人 (前年度 984人) 溪流茶屋 1,966人 (前年度 2,465人) 公園 7,905人 (前年度 9,849人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 8,784千円 (前年度 8,355千円) 施設利用料金収入 3,946千円 指定管理料 4,044千円 その他の収入 794千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 9,071千円 (前年度 8,254千円) 主な支出 施設使用料(賃借料) 88千円 人件費 2,207千円 光熱水費 878千円 修繕・消耗品費等 3,636千円 委託料 1,751千円 負担金・公租公課 201千円 その他 310千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	施設内にコーナーを設け、来場者アンケートからサービス向上への取り組みを行っている。
(2) 指定管理者の自己評価	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって利用者数の減少を心配していたが、健康増進・文化促進事業の実施によってほぼ前年並みの利用者を維持することができ、今年度の総収入は前年比プラス5%となった。 また、テントサイトの改良、大滝歩道の修繕に加え、令和3年度に実施する自主事業に伴い、テントサイトを新設したことから赤字となったが、令和3年度は利用者が増えることを見込んでいる。 今年度は雪が少なく、早くから園内の清掃・手入れができたが、施設オープンから16年目になり、交換・修理が必要な設備も増えている。 今後も利用者への丁寧な対応と、公園内の見回り・除草・清掃等施設の維持管理に努めたい。
(3) 市の評価	今年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、営業できる期間が短縮されたものの、キャンプへの需要の高まりも手伝い、施設利用料金収入の減額幅は少なかった。感染症対策をしっかりと行うなど、運営努力によるものも大きいと思われる。 収支については赤字となったが、投資的な改良・修繕によるものであり、新規に自主事業を開始することも含め、令和3年度の収益増加に期待したい。引き続き、施設周辺の特性を生かしたイベント等、利用促進への取り組みに期待したい。 また、利用者の利便性や安全面の確保に十分留意して、環境整備に努められたい。